

丹沢 勘七ノ沢

期間：2010年4月25日

メンバー：野澤（記）

毎年足慣らしがてら入渓している。4月始めは見たくない鹿の・・・があるので、時期を少し遅らせてみた。それともう一つ、この沢の最後の詰めがよく分かっていない。何とか花立山荘には辿りついているのだがすっきりしない。今回こそすっきりしたい！

6：30二俣着。他のパーティーはいないようだ。支度をして7：00入渓。静かな沢が楽しめそうだ。水も意外と冷たくない。

まずは、F1でわざと頭から水を被る。これで開き直れた。F2は、左岸に大きなガバがあるのでいつも気楽に登るが、少し脆くなってきたような気がする。注意して登る。

F3は、腰まで水に浸かり左岸に取りつく。ここはやっぱり水に入らないと。

F4、F5、F6とドンドン超えていく。あつという間に、石積みのできかたに着いてしまった。その先も小滝が続き、春の息吹を感じながらのんびりと沢を歩く。

いつものおいしい湧き水を汲もうと思っていたが、見逃してしまっただらう。残念。

左手の崩壊地を越えると二俣の分岐が見える。以前は草鞋がぶら下がっていたが、今回は両サイドにロープがぶら下がっていた。右へどんどん進んでいくと今度は赤布が有った。ここがすっきりした詰めの入り口？自信は無かったが信じて右のガレたルンゼを詰める。

小屋が間近に見える。小屋到着9：30。

これが、一番すんなりした詰め方だと実感。

これでやっとすっきりした。

花立山荘で沢支度を解く。

せっかく来たので塔ノ岳まで上り、綺麗な富士山を眺めてから下山。

大倉尾根や鍋割ルートは混むので、静かに下山しようと小丸尾根にした。また、日当りのいい尾根なのでヒルもないだろうと思った。しかし、意外と人が多い。すれ違った数パーティーに聞いてみると、急登ではなく、距離も短く、人も少ないので、家族連れや女性を含む若い人たちに人気なのだそうだ。知らなかった！

予想通り、今回はヒルにお目にかからずに済んだ。

明るく歩きやすい、小丸ルートはお奨めだ。

鹿の・・・も、完全白骨化しており、悪臭等が無くまだ良かった。沢も快調に遡行出来、気持ちよく終了。幸先が良いぞ！

去年はあまり沢へ行けなかったので、今年はたくさん沢へ行こうと思う。

今回 この沢で気がついたのは、古いシュリングが撤去されていたことだ。古くて危なげなものも多かったので、良かったと思う。片付けてくれた方に感謝！